

ウォーキングタウン小田原

コーディネーター：NPO法人 小田原まちづくり応援団

取組の背景

これまで必ずしも十分に活用されてこなかった歴史・文化資産をはじめ、自然やなりわいなどの資産を新たな視点で掘り起こし、その価値を市民に再認識していただき、観光資源として継続的に活用する取組の必要性を感じていました。

活動の狙い

小田原ならではの魅力ある資源を訪ねる散策コースやウォーキングに関する情報を広く紹介し、多くの人々に小田原を歩いていただくことによって、地域の活力向上を図ることを目指しました。

実施内容

本事業では、小田原ガイド協会や地場産業事業者との連携により、(1) 邸園やなりわいを軸とした小田原の本物の魅力を掘り起こし、街や店に誘導するスタッフの養成（神奈川県邸園マネージャーを2名育成、観光ガイド育成事業で3名育成）、(2) 五感で味わうまち歩きやイベントの企画運営（邸園所有者が愛好した料理や場所を訪ねるツアープログラムなど）を矢継ぎ早に手がけ、現在も常に新しい視点で見直し続けています。



活動の成果

本事業の拠点施設となっている清閑亭の来館者数が初年度となる平成22年度の約7,000人から、平成23年度が約16,000人、平成24年度が約21,000人、平成25年度が約23,000人と着実に増加しており、小田原の眠れる地域資源に付加価値を付け、地域内外の人びとに提示・共有することに寄与しています。

今後の展望

小田原に蓄積されてきた豊富な資源とその高付加価値化のビジョンについて、観光振興に関わる団体、市民、事業者、行政等の中で広く共有することが課題となっています。

そこで、担い手や地域にとって持続可能な経済資源としていくために、戦略的なマーケティング技術を取り入れ、大きなイベントに頼らず小さな成功体験を積み重ね、その成果を互いに共有することが大切であると考えます。

参考URL

<http://www.machien.net/>





取組の経過

平成22年6月

清閑亭を拠点とした活動開始

平成17年に国登録有形文化財にも登録され、平成20年に小田原市が取得した清閑亭（旧黒田長成侯爵別邸）の利活用を任せられ、施設の文化的価値を顕彰するとともに、周辺地域（本町・南町・板橋など）のまち歩きの出発点施設として本格的に取組がスタートしました。



まちあるきツアーの様子②



まちあるきツアーの様子①



まちあるきツアーの様子③

平成24年度～

国の制度を活用しながら、官民一体となった取組に

平成24年度からは、関東運輸局や観光庁のモデル事業を連続的に活用し、小田原市観光協会や小田原箱根商工会議所、小田原ガイド協会、まち元気小田原、小田原市などの多様な主体が連携・協働する体制を整え、各種課題解決に向けた検討を行っているところです。



まちあるきツアーの様子④